自己評価・外部評価結果

事業所名	愛の家グループホーム甲府朝気	
評価年度	令和8年度	
自己評価確定日	2026/2/27	
外部評価確定日	2026/3/18	
評価者（運営推進会議参加者）	所属（職名）	氏名
	朝気自治会	鎌田　様
	甲府東地域包括支援センター	若月　様
	ツクイグループホーム甲府富士見	田宮　様
	入居者様　ご家族様	神津　様
	ご家族様　ご意見	18名
	当ホーム管理者	山本
	当ホーム入居者様	和田様



No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営理念の唱和を継続しつつ、理念の内容の理解を深めるよう努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	甲府市主催のイベント等へ認知症の理解を深めてもらうため、参加をしている。また、スタッフと入居者様一緒に地元の店に買い物に行くなど地域に出ることを続けている。	甲府市主催のイベント等への参加により、入居者様の社会との交流のきっかけとなるよう参加の継続をお願いします。 現状は入居者様との買い物は地元の店である為、継続しなじみとなっていけるように努めて下さい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの状況を報告しながら意見を頂くよう努めている。ご家族様から頂いたご意見の反映に努めている。	運営推進会議の曜日や時間帯を以前に検討していましたが、現状は水曜日にて実施。ご家族様の参加できる方は以前よりも増えてはいる為、現状はそのまま行って下さい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事案発生時等に甲府市の担当者と連絡を取り合いながら、事業所の運営に努めている。また、包括支援センターへ定期的に訪問し信頼関係を築くよう努めている。	地域とのつながりのため、今後とも続けていけるように努めてほしいと思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な研修の開催や、セルフチェックによる防止策の会議を行っている。また、日頃から、言葉遣いや細かい対応を含めて、指導するように努めている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・自由に過ごしてもらっていると思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記同様、定期的な研修の開催にて、虐待防止法に対する理解を深める機会を作っている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本社から来る、研修資料をもとに、権利擁護とは何かを理解する機会を作り、会議等で話し合いを行っている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用契約時、理解しやすい言葉で説明するように努めている。また、契約締結後であっても、不明点があれば、都度、お答えできるようにしている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話や面会時などに意見を頂いた際には職員への共有も行うようにして、入居者様へつながるようにしている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・何かあるときには電話で確認していただいています。これからもお願いします。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に、職員と意見交換をする時間を作っている。また、定期的に面談(3ヵ月に1回)を行い意見交換する機会を作っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度をしき、定期的に評価を受ける機会を持っている。また、評価内容は、評価を受けた職員へもフィードバックし、モチベーションの向上につなげている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・すいませんが、分かりません。 ・料金面の負担が少なくなるように考えてもらっているので、これからも宜しくお願いします。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議の中で法人内の研修を受ける機会を作っている。法人外の研修においては、介護実践者研修の受講を積極的に勧めており、金銭面での支援を法人で行い、受講しやすい環境を作っている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の時などに職員を育てる取り組みに対して、どんなことをしているのか紹介する機会があると良い。介護職員とはどのような研修を受けるのか知りたいと思う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ツクイ甲府富士見グループホームや恵優会の運営推進会議に管理者が出席し、情報交換をしている。また、電話での情報交換もしている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様のニーズをしっかりと捉え、また、叶う形は常に模索しながら、ニーズの実現につながるようしつつ、共同生活者として関わりを持つよう努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	対面の面会を継続しており、長年、会えていなかった方との対面もできるようになってきている。	対面で面会はありがたいです。今後も感染対策をしながら対面での面会を続けてもらいたいです。		

Ⅱ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	A．充分にできている (B．ほぼできている) C．あまりできていない D．ほとんどできていない	生活歴を改めて共有し、それに沿った取り組みだけでなく、施設内での日常の活動も含めて、ご利用者様と話しながら進めるよう努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A．充分にできている (B．ほぼできている) C．あまりできていない D．ほとんどできていない	ケアプラン作成時などに、ご家族からの要望などを聞くようにし、ケアプランのサービス内容に反映するようにしている。	ケアプランについては意向を確認しておりますが、大多数の方は現状の様子が継続できるような意向があります。しかし、今後も確認は続けそれぞれの意見の徴収は続けてまいります。	A．充分にできている (B．ほぼできている) C．あまりできていない D．ほとんどできていない	・家族の要望を反映していただき助かっています。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A．充分にできている (B．ほぼできている) C．あまりできていない D．ほとんどできていない	日常の発言や行動なども含めた記録を残すようにしている。また、カンファレンスの際には、実施したサービスに対して、ご利用者様の反応の良し悪しを共有するようにしている。		A．充分にできている (B．ほぼできている) C．あまりできていない D．ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A．充分にできている B．ほぼできている (C．あまりできていない) D．ほとんどできていない	その時々で出てきた、ニーズに対して応えられるように努めているが、その日の予定により突発的なニーズ全てに応じれないこともある。時間や日を改めるなど入居者様に提案し応じられるようには取り組んでいる。	入居者様の突発的なニーズはに取り組んでいただけることはありがたいです。職員の皆様には負担になるかもしれないですが宜しくお願いします。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A．充分にできている B．ほぼできている (C．あまりできていない) D．ほとんどできていない	地域のボランティアなどの呼び込みは出来ていない。自治会のイベント参加などの関わりも希薄であり、地域資源の活用はできたとは変わらず言えない。	自治会長様の意見なども参考にしながら、地域の催しなどを把握できる機会を今後も続けて下さい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(A．充分にできている) B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない	大多数の方は、往診医（ふじ内科クリニック/内藤いずみDr.）にかかりつけ医を切り替えている。その他の方に関しては、ご家族と連携を図りながら、受診の支援を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(A．充分にできている) B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない	協力医療機関でもある、甲府共立病院へ、緊急時の対応をして頂けている。また、入院の事案発生時には、ワーカーと管理者とで情報共有を定期的に行うようにしている。		(A．充分にできている) B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない	

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調の低下により、状況の説明や以降の確認に努めるようにしている。また、必要に応じて主治医とご家族様との面談の機会が作れるように調整を行っている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・変わりあれば体調について連絡をもらえるが、こちらから聞いてみたいことなどあるときに主治医へ聞くことを依頼できるのでしょうか。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時の対応は、研修や会議を交えて訓練できるようにしている。また、事案発生時の連絡体制や連絡系統の共有を常に最新のものにし、対応できるようにしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	4月・10月に火災想定の避難訓練は継続し実施できている。ただし、ホーム内での実施であり、地域の方を含めた訓練までは出来ていない。	火災想定の避難訓練継続され報告されていますが、水害などの避難訓練を行ったときには、その報告もしていただけると様子が分かりありがたいのでお願いします。	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・避難訓練はいざというときにその知識は必要なので続けて行っていくようにお願いします。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様、一人の人として、自分達の先達である事を意識した、その人の尊厳を守れるような言葉掛けや対応に努めている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・プライドが高いのでその部分が心配ですが、宜しくお願いします。 ・利用者を大切にしてくれる様子が伝わってくる。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の過ごし方等は、職員が決めるのではなく、ご利用者様を話をしたうえで決定するようにしている。また、個別での希望がある際には、別個に対応できるよう体制作りをするようにしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の際には、上げ膳据え膳にならぬよう、食事前に献立の話をしたり、盛り付けなどの準備を、ご利用者様と一緒にこなすようにしている。また、食事中にも職員と談話しながら食事をするよう心掛けている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・イベントの時には特別工夫していただき感謝しています。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に、食事、水分の摂取量を把握し、また、個別の趣向に合わせた提供を心掛けている。また、摂取量の傾向を把握し、摂取しやすい環境の設定をするようにしている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの口腔ケアの習慣を把握しつつ、お声掛けしながら実施している。また、ご本人の能力に合わせ、職員がサポートするようにしている。また、甲府デンタルクリニックと連携し、口腔ケアに関するアドバイスを受けている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・口腔ケアの大切さが認識されるようになってきたが、早くからこの件について対応できている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄記録をもとに、排泄パターンを把握しつつ、便秘傾向にある方には、日常的に水分摂取量が増えるよう支援しつつ、主治医へも相談しながら関わっている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人に合ったパットなどを考えてもらい、支払いの負担が少なくできありがたい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴の希望があった際に、すぐには入れるよう、事前の準備をするようにしている。また、入浴する時間を把握し、一人ひとりの希望にそった入浴となるよう努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの睡眠パターンを把握しつつ、入所前の生活パターンも可能な限り情報収集し、グループホームの生活においても、再現ができるよう努めている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居宅管理指導で入っている、さち薬局と連携し、1週間に1回のペースで、ご利用者様の情報共有をしながら、服薬状況での注意点や、副作用などアドバイスを受けながら、変化に気が付けるよう努めている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・薬の飲み忘れがないようにフォローお願いします。 ・安定した状態が続いており成果が出ていると思う。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な、散歩やドライブなどの外出支援の実施。また、趣向に合わせて、写真撮影や将棋などができる環境作りに努めている。	定期的に外に出ている様子が写真などを通じてありがたい。行事や食事の様子も文面を通じて分かるので安心です。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	外に出る環境を作るようにしている。買い物など目的を持った外出になるよう努めている。ご家族様の協力もありながら行っているが、地域の人々との協力までは行えていない。	地域の店に買い物に行くなどしている為、継続してお店と顔なじみになっていければ。入居者様も挨拶などができる関係になっていけると良いと思います。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	日用品の購入などは、一部の方や希望がある方は一緒に買い物に行き買い物支援なども行っている。ただし、大半の入居者様は職員側で購入する部分が多い。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話など、希望のある際には制限をせず、使用して頂いている。また、携帯電話を所持している方に関しては、使用についての不安がある際にスタッフが一緒に関わるようにしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用部での生活において、動線上に危険がないかを確認し、それぞれが過ごしやすい、また、陽光があたる所にソファを配置するなどして、居心地よい環境にするよう努めている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人もグループホームでの生活に満足している様子です。
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様のしたい事など、要望を踏まえて日々の予定を考えているが、外出等に関しては、ドライブ等を中心に外出の意向に沿えるよう実施している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に、ご家族様より情報を頂き、職員内でも共有し、日々の関わりの中で活用するよう努めている。また、どの内容の話をし、その反応がどうだったのかを記録に残し、可視化するようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に、体調確認に努めている。異常発見時には、早期対応ができるように、しらゆり訪問看護ステーション、各かかりつけ医、さち薬局と連携を図るようにしている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・適度な運動もあるので安心しています。 ・何かあれば連絡をもらえている。 本人の変化に対応した取り組みが素早く出来ていると思う。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設の決まり事などは作らず、ご利用者様それぞれの生活のペースに職員が合わせるようにしている。職員は、習慣化していたことが継続出来ているのか確認をするように努めている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの居室に入所前から使用していた物や、普段身に着けていた物、宗教的な物など、自由に持ち込んで頂いている。※刃物・火の出る物等は控えていただいている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	催事への参加は、地域の催事ごとなどにはあまり参加はできていないが、季節柄の催事（初詣等）の参加やそれにより戸外へ出かけることを実施している。	季節柄の催事への参加や外出は入居者様にとって刺激が多くなり、また、ホームの中だけにいると季節も分からなくなってしまうことも気がかりなのでぜひ続けてもらいたいた思います。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者それぞれの状況を、正確に把握し、その状況に合わせた生活と役割が持てるよう支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様それぞれが、今までされてきたことを活かせる環境作りや、日々の会話の中で、話題として提供するようにしている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・外出の様子も写真で分かりやすくありがたい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣への買い物などで地域の方と接する機会はあるが、交流とまでは出来ていない。地域との関わり方について、現状で出来ることを検討している。	事業所の立地状況からも、なかなか近隣の方との交流も少なく、そういった機会を得ることが難しいので、ちょっとしたことでも外に出て地域に関わるようにして下さい。		
49	総合	本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活における、希望や願いなど、全てに応える事が現状は出来ていないが、日々、職員と関わりも持つ中で笑顔や安心感をもっていただきながら、生活できるよう努めている。	本人の要望全てを聞くことは難しいと思いますが、ぜひ今後も宜しくお願いします。	(A.) 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人の要望を聞いていただき助かっています。これからも宜しくお願いします。 ・信頼して母を任せております。これからも宜しくお願いします。 ・職員の皆様に感謝しております。 ・穏やかに落ち着いて生活できているので良い日々を送っていると思う。

（参考様式4）

事業所名　愛の家グループホーム甲府朝気

作成日：令和 8年 3月 18日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	火災想定の避難訓練については継続され報告ある為、避難状況など周知できているが、水害などの避難訓練についてはどのような内容で行われているのかホーム外に把握できていない状況となっている。	火災想定の避難訓練及び水害想定の避難訓練の報告もすることで、ホームの訓練状況を地域の方も含めて知っていただく。	火災想定の避難訓練及び水害想定の避難訓練を定期的に実施。その状況を運営推進会議にて報告し、地域の方も含めて共有できる機会を作る。	6ヶ月
2	12	職員を育てる取り組みに対して、どんなことをしているのかご家族様は知る機会がない状況になっている。介護職員とはどのような研修を受けるのか知る機会の提供を検討。	ご家族様にホームの職員が実施している研修を知っていただき、どのような知識を得ているのか共有できる状況作りをしていく。	どのような研修を受けるのか知る機会としては、運営推進会議での周知を実施。また、周知時には実際の研修で使用した資料も参考として用意しより分かりやすい共有方法を徹底していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。